I·O DATA

PCカード規格(TYPE Ⅱ)準拠 LANカード

PCLA/T

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

E-04

【ご注意】

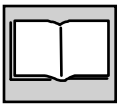
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器 PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易管理法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、1部だけ複写できるものとします。
（ただし5ボードセット品については、5ユーザーまでの使用が可能です。）
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- NetWareは、米国 Novell,Inc.の登録商標です。
- ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

■はじめに

このたびは、PCカード規格(TYPE Ⅱ)準拠LANアダプタカード「PCLA/T」をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

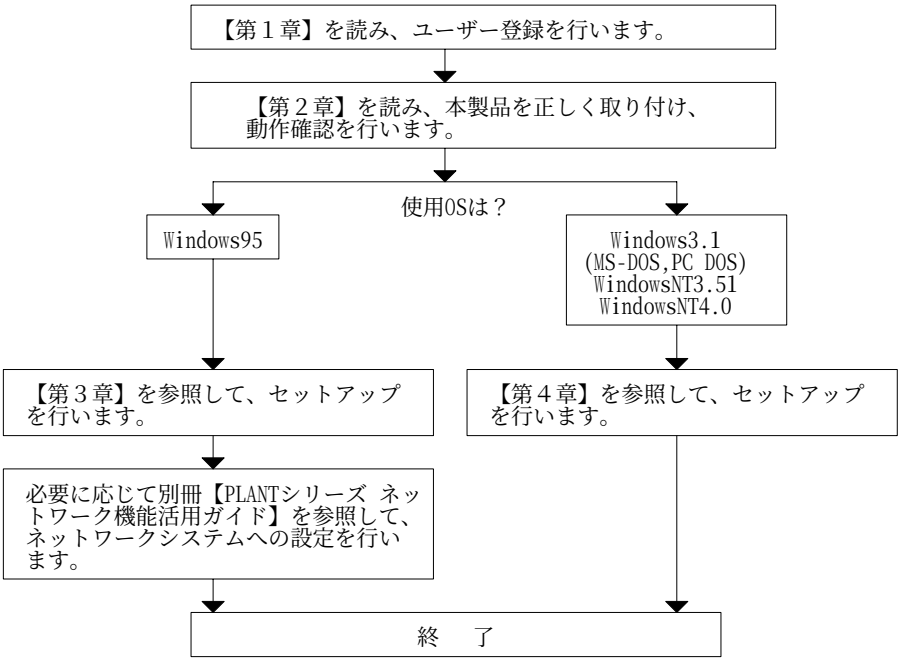
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書の表記方法

• 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



• 呼び方

呼び方	意 味
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
Windows	Windows95,Windows3.1,WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称

• ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

〈ドライブ構成〉

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

A：フロッピィディスクドライブ3.5インチ(1.44MB/720KB)
C：ハードディスクドライブ
　ご使用になるOSがインストール済みで起動可能
D：CD-ROMドライブ

PC-9800シリーズの場合

A：ハードディスクドライブ
　ご使用になるOSがインストール済みで起動可能
B：ハードディスクドライブ
C：フロッピィディスクドライブ3.5インチ(1.44MB/1.25MB/720KB)
D：CD-ROMドライブ

はじめに i
目次 iii

第1章 ご使用になる前に……1

1.1 特徴 1
1.2 箱を開けたら 2
1.3 動作環境 5
1.4 取り扱い及び使用上の注意 7
1.5 実行用ディスクの作り方 8

第2章 取り付け方法……9

2.1 各部の名称 9
2.2 LEDインジケータ 10
2.3 取り付け 11
2.4 動作確認 13

第3章 日本語Windows95で使用するには ……16

3.1 インストール方法 17
3.1.1 インストールの前に 17
3.1.2 インストール 18
3.1.3 インストール終了後の確認 21
3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項 23

第4章 他のOSで使用するには……26

4.1 日本語Windows3.1及びMS-DOSへのセットアップ 26
4.1.1 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのｾｯﾄｱｯﾌﾟ 26
4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ 30
4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ 31
4.1.4 LANtastic 6.0へのセットアップ 31
4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ 32
4.3 日本語WindowsNT3.51 Workstationへのセットアップ 39

付録1 困った時には……42

● 自己診断中のトラブル 42
● Windows95上でのトラブル 46

付録2 仕様……48

付2.1 パソコン環境 48
付2.2 ハードウェア仕様 52

PLANTコールセンターへのお問い合わせ 53
サポートソフトのバージョンアップ 54
修理について 55

第1章 ご使用になる前に

この章では、PCLA/Tをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

●Ethernet IEEE 802.3に準拠しています。

●PCカード規格(TYPE II)に準拠しています。

●ネットワーク状態の監視用LEDインジケータが装備されています。

●RJ-45[10BASE-T]が使用できます。

●ソフトウェアで環境設定を行うスイッチレス設計です。

●外部電源のいらない低消費電力設計です。

●NetWare,Windows95,WindowsNTに対応しています。

1.2 箱を開けたら

• 内容のご確認

・スタンダードセット

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタカード	1枚	PCLA/T
2	メディアカプラ	1個	RJ-45（10BASE-T）用
3	フェライトビーズ	1個	ノイズ低減用
4	サポートソフトウェアディスク	3枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
5	取扱説明書	1冊	本書
6	PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド	1冊	
7	SERVER II	2枚	3.5インチ2HD（1.44MB, 1.25MB）
8	SERVER II 取扱説明書	2冊	
9	Verシール	3枚	
10	ハードウェア保証書	1枚	
11	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
12	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末

・5カードセット

No.	内容物	個数	備考
1	「はじめにお読みください」	1枚	差し込み
2	LANアダプタカード	5枚	PCLA/T
3	メディアカプラ	5個	RJ-45（10BASE-T）用
4	フェライトビーズ	5個	ノイズ低減用
5	サポートソフトウェアディスク	3枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
6	取扱説明書	1冊	本書
7	PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド	1冊	
8	SERVER II	2枚	3.5インチ2HD（1.44MB, 1.25MB）
9	SERVER II 取扱説明書	2冊	
10	Verシール	3枚	
11	ハードウェア保証書	5枚	
12	ハードウェアシリアルNo.シール	5枚	
13	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
14	ユーザー登録カード返送用封筒	1枚	

・LANtasticセット

No.	内容物	個数	備考
1	「LANtasticについて」	1枚	差し込み
2	LANアダプタカード	1枚	PCLA/T
3	メディアカプラ	1個	RJ-45（10BASE-T）用
4	フェライトビーズ	1個	ノイズ低減用
5	LANtastic	1式	3.5インチ2DD 7枚　マニュアル 4冊
6	サポートソフトウェアディスク	3枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
7	取扱説明書	1冊	本書
8	PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド	1冊	
9	WinKit II	2枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
10	WinKit II 取扱説明書	1冊	
11	SERVER II	2枚	3.5インチ2HD（1.44MB, 1.25MB）
12	SERVER II 取扱説明書	2冊	
13	Verシール	4枚	
14	ハードウェア保証書	1枚	
15	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
16	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末

・LANtastic for Windows95セット

No.	内容物	個数	備考
1	「LANtasticについて」	1枚	差し込み
2	LANアダプタカード	1枚	PCLA/T
3	メディアカプラ	1個	RJ-45（10BASE-T）用
4	フェライトビーズ	1個	ノイズ低減用
5	LANtastic for Windows95	1式	3.5インチ2HD(1.44MB)..... 2枚 取扱説明書..... 1冊 インストール前の注意..... 1冊 TECHNICAL SUPPORT SERVICES.... 1枚 ユーザー登録カード..... 1枚
6	サポートソフトウェアディスク	3枚	3.5インチ2HD（1.44MB）
7	取扱説明書	1冊	本書
8	PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド	1冊	
9	Verシール	2枚	
10	ハードウェア保証書	1枚	
11	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
12	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末

万が一、不足品がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

• ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注 意

1)弊社では、PLANTコールセンターでの質問受け付けやソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

- パソコン本体の機種
  - PCカードTYPE II スロットを搭載または装備した以下の機種
    PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン※1
    PC-9800シリーズ
  - 弊社製CardDock2-EX/DV,C-Dock/DVが動作可能なDOS/Vマシン
  - 弊社製CardDock2-EX/98,C-Dock/98,C-Dock/98-EXが動作可能なPC-9800シリーズ

※1 弊社ではOADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

- ＯＳ環境

・PC98-NXシリーズ
　日本語Windows95
　日本語WindowsNT4.0

・DOS/Vマシン
　日本語Windows95
　日本語WindowsNT4.0/3.51
　日本語Windows3.1（MS-DOS（PC DOS）Ver.5.0以降）
　MS-DOS（PC DOS）Ver.5.0以降

・PC-9800シリーズ※2
　日本語Windows95
　日本語WindowsNT4.0/3.51
　日本語Windows3.1（MS-DOS Ver.3.30C以降）
　MS-DOS Ver.3.30C以降

※2 PC-9801NX/C,NL/R,NS/A,PC-9821Neでは、DOS,Windows3.1でのみの使用となります。



注 意

[Windows3.1,MS-DOS上で使用する場合]
・DOS/Vマシンをお使いの場合
　標準でPCカードドライバが添付されていない場合がありますのでご確認ください。PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。
・PC-9801NX/C,NL/R,NS/A,PC-9821Neをお使いの場合
　別売のPCカードサポートソフトが必要です。PCカードサポートソフトに関しては、NECにお問い合わせください。

- **対応ＮＯＳ環境**

クライアント・サーバ

日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.51
NetWare 4.11J/4.1J/3.12J
Microsoft LAN Manager V2.1xJ

ピア・ツー・ピア

日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.51
Personal NetWare J1.0
LANtastic 6.0
LANtastic for Windows95

ネットワークプロトコル

packet driver for FTP TCP/IP
ODI4.0/NDIS2.x,3.x

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。

・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・分解や改造などをしないでください。

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・ PC98-NXシリーズでご使用の場合は、付属のサポートソフトウェアディスクは「DOS/Vマシン用」を使用してください。

・保証について

保証期間

・保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。
また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下は、フロッピィディスクドライブが A ドライブの場合）

1 【・ 内容のご確認】(P2)に含まれるすべての枚数分のフォーマット済みの空きフロッピィディスク(3.5インチ2HDまたは2DD)を用意します。

2 サポートディスクを書き込み禁止にします。

3 **Windows95の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし「ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ」を選択します。

Windows95の例)



MS-DOS（Windows3.1）の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態で DISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy A: A:・
```

（下線部入力）

4 サポートディスクと空きフロッピィディスクをメッセージに従って入れ替えながら、バックアップを取ります。

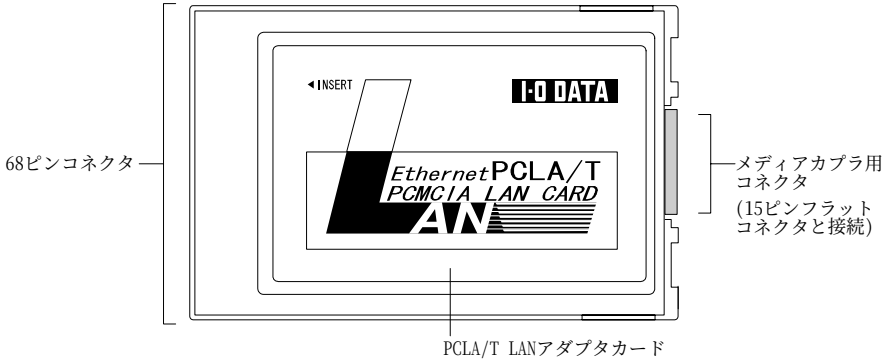
注 意

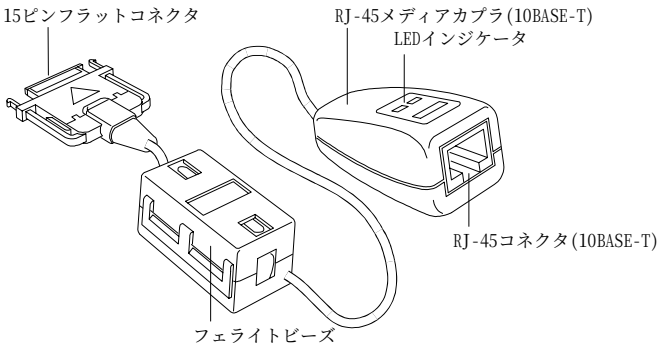
サポートディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートディスクは大切に保管してください。

第2章 取り付け方法

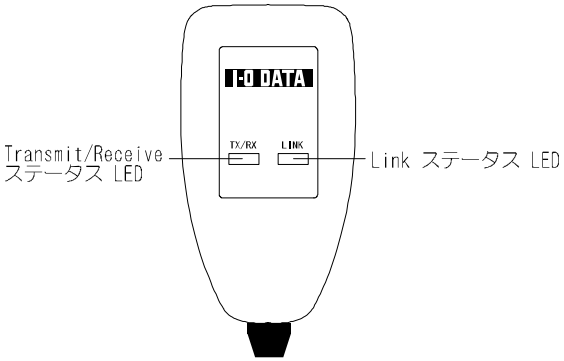
この章では、パソコンにPCLA/Tをセットアップし、ハードウェアが正しく動作することの確認方法を説明します。

2.1 各部の名称





2.2 LEDインジケータ



・Link ステータス LEDインジケータ

Link ステータス LEDインジケータは、ネットワークリンクステータスインジケータとして機能します。

このLEDは、PCLA/Tがパソコンから電力の供給を受け、ハードウェアとソフトウェアが適切にセットアップされている時、常に点灯しています(緑色)。点灯しない場合はネットワーク回線接続をチェックしてください。

・Transmit/Receive ステータス LEDインジケータ

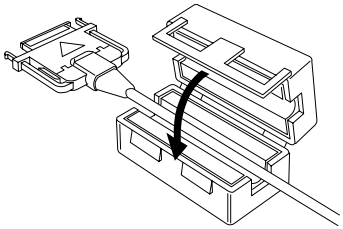
このLEDインジケータは、送受信用データを示します。

緑色の点滅(点灯)状態は、ネットワークの利用状況を示しています。

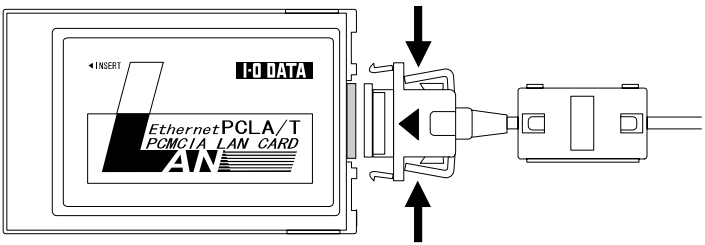
2.3 取り付け

1 パソコンの電源スイッチを切ります。

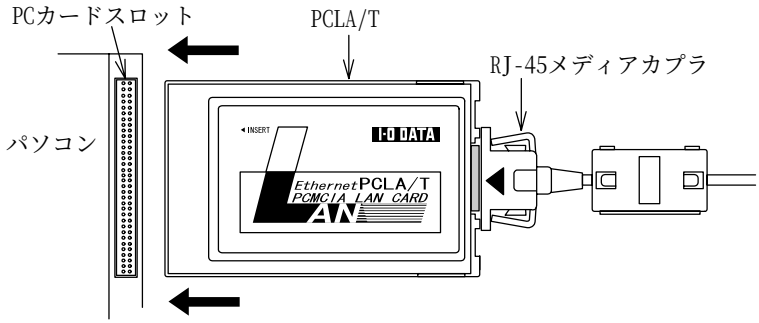
2 RJ-45メディアカプラにフェライトビーズを取り付けます。
（ノイズによる障害を軽減する効果があります。）



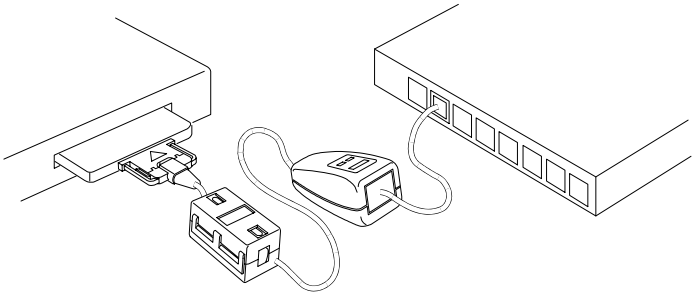
3 RJ-45メディアカプラをPCLA/Tのメディアカプラ用コネクタに接続します。（PCLA/Tの表側と15ピンフラットコネクタの◀印の面を合わせて、
15ピンフラットコネクタの外側を押しながらPCLA/Tに接続します。）



4 **PCカードスロットに、RJ-45メディアカプラを接続したPCLA/Tを取り付けます。PCLA/TがPCカードスロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。**



5 **PCLA/Tをネットワークに接続します。(メディアカプラとハブのRJ-45コネクタを10BASE-T用非シールドツイストペアケーブルで接続してください。)**



ハードウェアの接続は以上です。コンピュータの電源を入れ、パソコンの環境に合わせた設定(【付2.1　パソコン環境】(P48)参照)を行い、PCLA/Tの動作確認(次ページの【2.4　動作確認】参照)を行ってください。

2.4 動作確認

PCLA/Tの動作確認を行います。
動作確認は、MS-DOS上で動作する lasetup.exe で行います。lasetup.exeはLANアダプタカードの自己診断による動作確認を行います。


特に注意

動作確認を行う場合は、config.sysやautoexec.batに各種ネットワークドライバ（NetWare,MS LAN Manager,LANtastic等）を組み込まない状態でテストを行ってください。
組み込まれたまま動作確認を行うと、パソコンがハングアップしたりして正常に動作しなくなる場合があります。

診断が正常なことを確認し、設定を終了後、NetWareクライアントにPCLA/Tの設定を反映させる事ができます。画面の指示に従って作業を進めてください。ただし、設定の反映はNetWareクライアントをインストールした後に行ってください。(インストールしていない場合・またはWindows95,WindowsNT上で使用する場合は、「終了」を選んでください。)

■メモリ領域の確保

config.sysのメモリマネージャ（emm386.exeや弊社製vmm386.exe等）にPCLA/T用に少なくとも4KBのメモリ空間が必要です。
空けていない場合は、以下の例を参照して4KBのメモリ空間を空けてください。
（他のPCカードで使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）

emm386.exeの場合（下線部を設定:4KB空ける場合）
例）　DOS/Vマシンの場合
　　DEVICE=EMM386.EXE NOEMS X=D400-D4FF
　　PC-9800シリーズの場合
　　DEVICE=EMM386.EXE NOEMS /E=DC00-DCFF

弊社製vmm386.exeの場合（下線部を設定:32KB空ける場合）
例）　DEVICE=VMM386.EXE /ROM=D8-DF


参 照

PCLA/TのIDや他の情報を読み込むためにそのメモリ空間を使用します。（他のPCカードと一緒に使用する場合は、使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）

1 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、ハードディスクからMS-DOSを起動します。(以下は、PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン，PC-9800シリーズでWindows95からDOSプロンプトを起動する場合です。)

● **PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合**

Windows95の起動時 (Starting Windows95...の表示中) に[F8]キーを押し、「Microsoft Windows95 Startup Menu」が表示されたら「Command prompt only」を選択してDOSプロンプトを起動してください。

● **PC-9800シリーズの場合**

Windows95の起動時 (Windows 95 を起動しています...の表示中) に[F8]キーを押してください。「Microsoft Windows 95 起動メニュー」が表示されたら[SHIFT]+[F5]キーを押して、DOSプロンプトを起動してください。

参考

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンでメモリマネージャやその他のデバイスドライバと競合する場合は、「Command prompt only」を選択する前に[SHIFT]+[F8]キーでStep-by-step confirmationモードを「Y」に切り替えてから起動してください。途中、競合するドライバを組み込まないように選択しながら、DOSプロンプトを起動してください。(日本語環境は必ず組み込んでください。)

2 フロッピィディスクドライブに添付の「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをセットし、以下のようにセットアッププログラムを起動します。

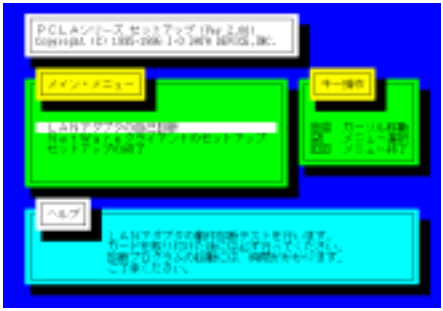
書式　[フロッピィディスクのドライブ名]:\lasetup

例)

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合	PC-9800シリーズの場合
C:\>a:\lasetup・	A:\>c:\lasetup・

(下線部入力)

セットアップ画面が表示されたら「LANアダプタの自己診断」を選択してください。



3 以下の項目について、PCLA/Tのチェックが行われます。

装置構成テスト.....PCLA/Tの初期状態のチェック
I/Oテスト.....I/Oポートアクセスのチェック
IDテスト.....製品情報のチェック
RAMテスト.....PCLA/Tの側のRAM状態のチェック
内部ループバックテスト.....PCLA/Tのコントローラのチェック
外部ループバックテスト.....ネットワークリンクのチェック
割り込みテスト.....割り込み機能のチェック

上記テストで異常が無いことを確認してください。

さらに、[F2]キーを押すと、ネットワーク機能テストが始まります。カウンタが5000を示すまでの間、「異常」がカウントされないことを確認すれば良いでしょう。終了するには[ESC]キーを押してください。

注意

1) トラブルが発生した場合、LAN間接続（ケーブル,ハブなど）が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「LANアダプタの自己診断」を動かしてください。
2) すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

この後、次章以降を参照して各OS及びNOSへのドライバの設定を行ってください。ただし、PCLA/TをWindows95で使用する場合は、一旦PCLA/TをPCカードスロットから取り外し、ドライバをインストールする前の確認（【3.1.1 インストールの前に】(P17)参照）を行ってください。Windows95では、Windows95起動後にPCLA/TをPCカードスロットに挿入します。

参照

PCLA/T（PCカード）の取り外しは、通常PCカードスロットの横のイジェクトボタンで取り外します。
取り外しに関する詳細は、パソコンのマニュアルを参照してください。

第3章 日本語Windows95で使用するには

この章では、［第2章］で取り付けたPCLA/TをWindows95で使用する場合について説明します。
PCLA/TをWindows95で使用するには、PCLA/TのWindows95用のドライバのインストール及びネットワークの設定が必要です。この章では、Windows95へのドライバのインストール方法について説明します。
各種ネットワークへの接続方法については、別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能活用ガイド』を参照してください。



注 意

1)インストールの前に必ず［2.4 動作確認］(P13)を参照して動作確認を行い、診断テストが正常なことを確認してください。
2)Windows95起動前にPCLA/Tを一旦取り外してください。起動後まず次ページの［3.1.1 インストールの前に］を確認してください。その後、RJ-45メディアカプラを接続したPCLA/TをPCカードスロットに挿入します。

3.1 インストール方法

3.1.1 インストールの前に

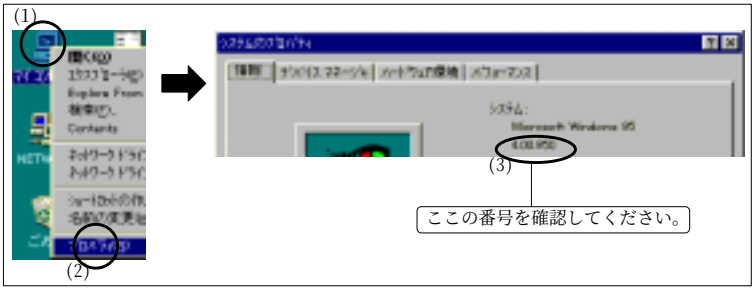
インストールの前に以下の内容をご確認ください。

- **Windows95バージョン番号の確認**

Windows95のバージョン（4.00.950、4.00.950a、4.00.950 B）によってインストール手順の一部が異なります。まず以下の方法でWindows95のバージョンを確認してください。

＜確認方法＞

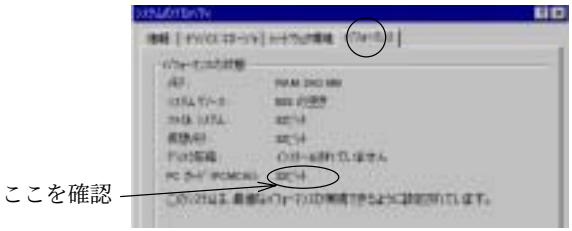
デスクトップ上の「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンにマウスカーソルを合わせてマウスの右ボタンを押し(1)、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します(2)。「ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」に表示される番号を確認してください(3)。



- **PCカードのドライバの確認**

上記画面の「ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ」タブを開きます。

「PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)」のドライバが32ビットであることを確認してください。



32ビットになっていない場合は、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ]アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。

3.1.2 インストール

Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950aの場合
　以下の「Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合」の欄をお読みください。
Windows95のバージョンが4.00.950 Bの場合
　以下の「Windows95 4.00.950 Bの場合」の欄をお読みください。

Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合	Windows95 4.00.950 Bの場合

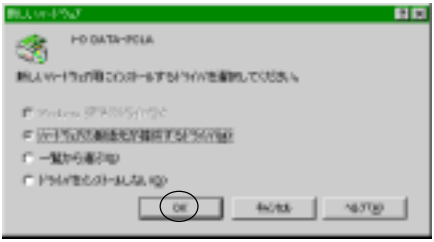
1 **Windows95起動後、ネットワーク接続したPCLA/TをPCカードスロットに挿入してください。（詳細は［2.3　取り付け］(P11)を参照してください。）**



参 考

PC98-NXシリーズでは、パソコンのPCカードスロットへPCLA/Tを挿入した時点で、自動認識されます。この後、［3.1.3］(P21)で正常に認識されているかどうかの確認を行ってください。

2 **PCLA/Tが新しいハードウェアとして認識され、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。**
「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



2 **PCLA/Tが新しいハードウェアとして認識され、『ﾃﾞﾊﾞｲｽﾄﾞﾗｲﾊﾞｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面が表示されます。**
「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、[次へ]ボタンをクリックしてください。





注 意

インストールが正しく終了した場合、次回からこの画面は表示されません。もし、インストールを行っていないのに、PCLA/TをPCカードスロットに挿入してもこの画面がでない場合は、以下の原因が考えられます。
① PCLA/TをPCカードスロットに正しく挿入していない
（PCLA/Tの向きが違う、PCカードスロットに奥まで挿入していない）
② PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のドライバが32ビットになっていない
（［・　PCカードのドライバの確認］(P17)を参照し、確認してください。）

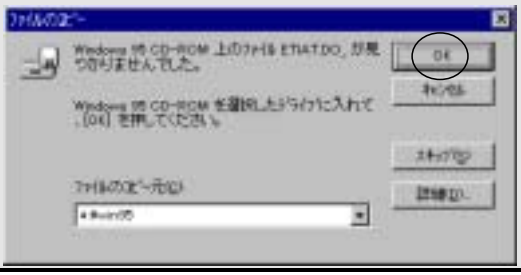
Windows95 4.00.950/4.00.950aの場合	Windows95 4.00.950 Bの場合
3 『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸからｲﾝｽﾄｰﾙ』画面では、「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、フロッピィディスクドライブのwin95のパス指定を行い、[OK]ボタンをクリックしてください。ファイルのコピーを開始します。  例）A:\win95（下線部入力:フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）	3 「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用の更新されたﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりました。 I-O DATA PCLA/T....」では、[完了]ボタンをクリックしてください。ファイルのコピーを開始します。  「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィドライブに挿入していなかった場合は、上記の画面は表示されず、以下の「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用のﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりませんでした。」と表示されます。[戻る]ボタンをクリックし、ディスクを挿入して再度手順2から行ってください。 

注 意

途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMを準備して
d:\win95　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）
と入力し、画面の指示に従ってください。

上記のCD-ROM等からのファイルコピーの途中で
「....のファイル　PCLxx.DO_　のファイルが見つかりませんでした。」
とエラー表示された場合は、以下の例のフロッピィディスクドライブのwin95のパス指定を行い、[OK]ボタンを押してください。

例）A:\win95（下線部入力:フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）



4　必要なファイルがコピーされると、インストールが終了します。
PCLA/Tは挿入したまま、一旦Windows95を再起動してください。

以上でインストールは終了です。次に、正常にインストールされたかの確認を行ってください。（[3.1.3 インストール終了後の確認] (P21)参照）

注 意

Windows95使用中にPCカードの動作を終了しないで、PCLA/TをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
PCLA/TをPCカードスロットから取り外す際には、
[3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項] (P23)を参照してください。

3.1.3 インストール終了後の確認

ここではPCLA/TがWindows95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。
インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（以下のB画面）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面



B「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の
「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン



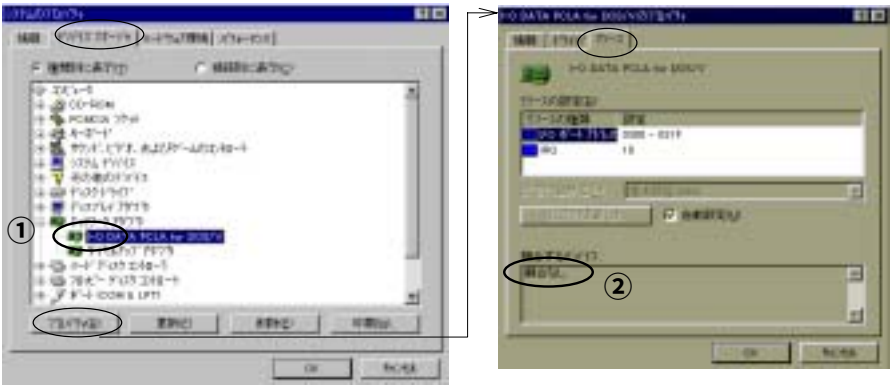
参考

Windows95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておくと、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

次に、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ　ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。（次ページの画面参照）

① 「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の「I-O DATA PCLA/T for xxxx」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。
（xxxxにはPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は‘DOS/V’、
PC-9800シリーズの場合は‘PC-9800ｼﾘｰｽﾞ’と表示されます。）

② 「I-O DATA PCLA/T for xxxx」を選択後、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA PCLA/T for xxxxのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないことを確認してください。



参照

！マークがついていたり、デバイスが競合していた場合は、〔付録1 困った時には〕(P42)を参照してください。

ネットワークシステムへの設定について

上記①及び②の確認がすべて正常ならば、Windows95でPCLA/Tが使用できます。この後、Windows95同士のピア・ツー・ピア接続や各種ネットワークシステム(NetWare,WindowsNT,LANtastic for Windows95)のクライアントとして使用する場合は、必要に応じて以下を参照してください。

- **ピア・ツー・ピア接続の設定**

  別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド』の〔1.2 ピア・ツー・ピア接続の設定〕を参照してください。

- **各種ネットワークシステムへの接続**

  別冊の『PLANTシリーズ ネットワーク機能 活用ガイド』の〔1.3 各種ネットワークシステムへの接続〕を参照してください。

3.2 Windows95を使用中に取り外す場合の注意事項

Windows95を使用中でもPCLA/Tを取り外すことができます。

ただし、PCカードの動作を終了せずにPCLA/TをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

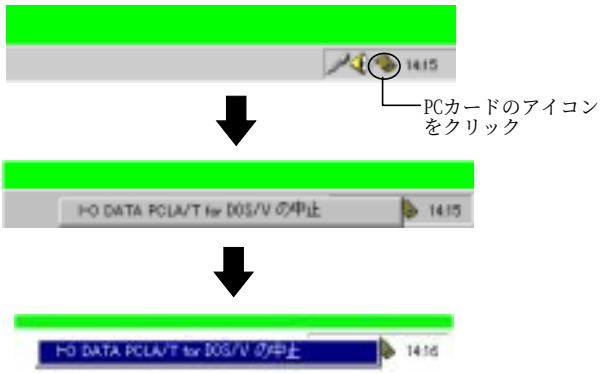
PCLA/TをPCカードスロットから取り外す際には、次ページの「・　PCLA/Tの取り外し方法－その1」または「・　PCLA/Tの取り外し方法－その2」(P25)の手順に従って行ってください。

またPCLA/Tを取り外す場合は、PCLA/Tを使用しているLANのネットワークを使用していない(他のネットワークにアクセスしていない、及び他のネットワークからアクセスされていない)事を確認してから取り外してください。



・ PCLA/Tの取り外し方法－その1

1 タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「I-O DATA PCLA/T for DOS/Vの中止」を選択後(PC-9800シリーズを使用している場合は、「I-O DATA PCLA/T for PC-9800ｼﾘｰｽﾞの中止」を選択後)、クリックします。



2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



3 PCLA/TをPCカードスロットから取り外してください。
再度PCLA/Tを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれば使用できます。

PCLA/Tの取り外し方法－その2

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。『PC ｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面が表示されます。
取り外すPCLA/Tを選択して、[終了]ボタンをクリックします。



2 次の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



3 PCLA/TをPCカードスロットから取り外してください。
再度PCLA/Tを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれば使用できます。

第4章 他のOSで使用するには

この章では、Windows95以外のOSへのセットアップ方法について説明します。

4.1 日本語Windows3.1及びMS-DOSへのセットアップ

4.1.1 NetWare 3.12J/4.1J/4.11Jへのセットアップ

ここでは、NetWareクライアントへのPCLA/Tの設定について説明します。
すでにNetWareのクライアント環境が存在し、PCLA/T用に変更を加える場合は、lasetup.exeを起動し、「NetWareドライバのコピー」を選択してセットアップを行ってください。

NetWareで使用するNET.CFGは、lasetup.exeを起動し、「NetWareクライアントのセットアップ」を使用してインストールを行うことにより自動的にPCLA/TのI/Oポートアドレスが記述されます。その他の設定変更に関しては（FIRST NETWORK DRIVEはデフォルトでHドライブに設定されています。）、お手元のエディタで行ってください。

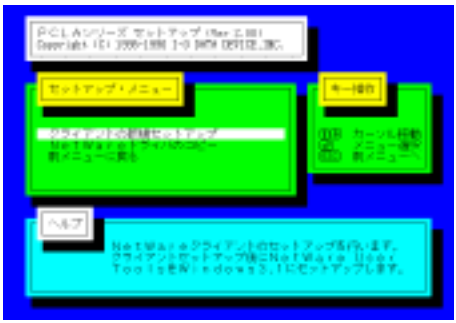
参考

1)サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、NET.CFGの変更が必要になる場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。
2)NetWareに添付されているインストールプログラムを使用する場合、「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、ドライバの読み込み先は **A:\netware\dosodi**（フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）と指定してください。

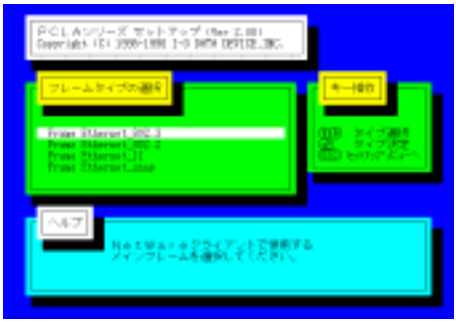
「MS-DOSの環境のみで使用する場合」は次ページを、「Windows3.1とMS-DOSの環境で使用する場合」は29ページを参照してください。

MS-DOSの環境のみで使用する場合

1 **lasetup.exeを起動して「NetWareクライアントのセットアップ」－「クライアントの新規セットアップ」を選択し、画面の指示に従ってセットアップを行ってください。**



2 **「フレームタイプの選択」は、接続するNetWareサーバのタイプに合わせてください。指定のディレクトリ（デフォルトはPLANT）にNetWareのドライバと起動用バッチファイル［startnet.bat］がインストールされます。**



参考

フレームタイプに関する詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。

3 「自動起動文の追加」で「追加を行わない」を選択した場合、autoexec.batに直接起動用のコマンドを記述するか、DOSプロンプトからstartnetと入力してください。
また、「追加を行う」を選択した場合、autoexec.batに

@CALL C:\PLANT\STARTNET.BAT　(DOS/Vマシンの場合)
@CALL A:\PLANT\STARTNET.BAT　(PC-9800シリーズの場合)
(指定したディレクトリがPLANTの場合)

が追加されます。
（PC-9800シリーズでMS-DOS Ver3.3XXをご使用の場合は、

SET NWLANGUAGE=NIHONGO
COMMAND /C A:\PLANT\STARTNET.BAT
(指定したディレクトリがPLANTの場合)

と追加されます。）

自動起動文の有無に関わらず、
config.sysには、LASTDRIVE=Z
autoexec.batには、PATH=C:\PLANT;%PATH%(DOS/Vマシンの場合)
PATH=A:\PLANT;%PATH%(PC-9800シリーズの場合)
(指定したディレクトリがPLANTの場合)
が追加されます。


参考

サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、コマンドオプションが必要な場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。

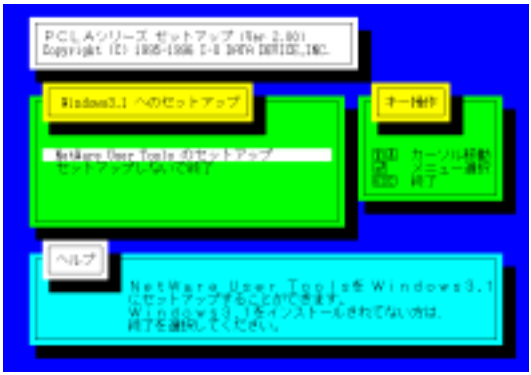
以上でインストールは完了です。セットアップを終了し再起動してください。


注意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

Windows3.1とMS-DOSの環境で使用する場合

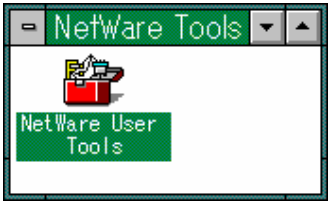
「MS-DOSの環境のみで使用する場合」(P27)と同様な作業を行った後、「NetWare User Tools のセットアップ」を選択し、画面の指示に従って作業を行ってください。



参考

「NetWare User Tools」のみをインストールする場合は、「NetWare User Tools用」ディスクから以下を起動してください。
lawinat.exe （DOS/Vマシンの場合）
lawin98.exe （PC-9800シリーズの場合）

インストールが終了するとWindows3.1のプログラムマネージャに「NetWare Tools」のグループが作られます。



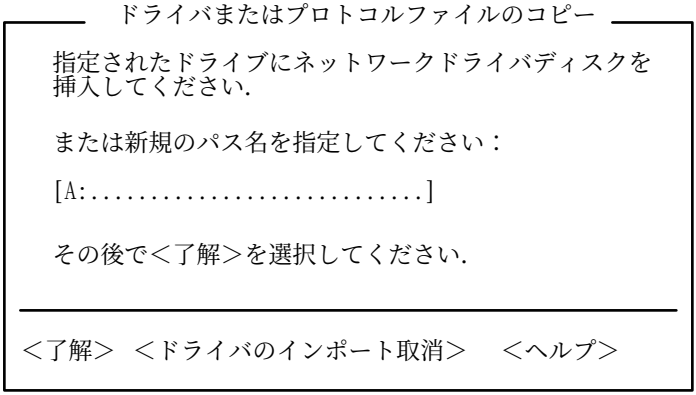
参照

NetWare User Toolsの使用方法に関してはNetWareの取扱説明書及びNetWare User Toolsのヘルプを参照するか、ネットワークシステム管理者にご相談ください。

4.1.2 Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ

LAN Managerのsetup.exeを起動してください。

「表示/変更」－「ﾈｯﾄﾜｰｸﾄﾞﾗｲﾊﾞの登録」－「新規設定」－「その他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を順に選択してください。



「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面が表示されます。

「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、挿入したドライブ名のみを入力し、＜了解＞を選択してください。

例) DOS/Vマシンで [フロッピィディスクドライブがA ドライブ]の場合

A:・　(下線部入力)

例) PC-9800シリーズで [フロッピィディスクドライブがC ドライブ]の場合

C:・　(下線部入力)

次に「I-O DATA PCLA Ethernet Adapter」が表示されている事を確認してください。

「ネットワークプロトコル」で任意のプロトコルを選択して「ネットワークドライバ設定」で「了解」－「保存」でインストールは終了です。



注 意

1) DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

2) CD-ROMドライブを使用している場合は、autoexec.batの「@REM ======= LANMAN 2.1･･･････････」で囲まれた領域を「mscdex.exe」の登録箇所より先に移動してください。

4.1.3 Personal NetWare J1.0へのセットアップ

Install.exeでインストールする際に、「1次ﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｶｰﾄﾞ」－「OEM製NetWareｲﾝﾀｰﾌｪｰｽの設定」を選択後、「PCLA/Tサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例）DOS/Vマシンで［フロッピィディスクドライブがA ドライブ］の場合

A:\netware\dosodi・　（下線部入力）

例）PC-9800シリーズで［フロッピィディスクドライブがC ドライブ］の場合

C:\netware\dosodi・　（下線部入力）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。
詳細はPersonal NetWare J1.0の取扱説明書を参照してください。



注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.1.4 LANtastic 6.0へのセットアップ

LANtastic 6.0のInstall.exeでインストールする際に「追加機能の選択」－「インストール処理の継続」選択後、「NDISサポート ネットワークアダプタ」を選択します。「PCLA/Tサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

例）DOS/Vマシンで［フロッピィディスクドライブがA ドライブ］の場合

A:\lantast・　（下線部入力）

例）PC-9800シリーズで［フロッピィディスクドライブがC ドライブ］の場合

C:\lantast・　（下線部入力）

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。
詳細はLANtastic 6.0の取扱説明書を参照してください。



注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

4.2 日本語WindowsNT4.0へのセットアップ

PCLA/TのWindowsNT4.0へのセットアップには、まず以下の「・ インストールディレクトリの作成」を行ってください。次に次ページの「・ WindowsNT4.0への設定」でPCLA/Tの設定を行ってください。

• インストールディレクトリの作成

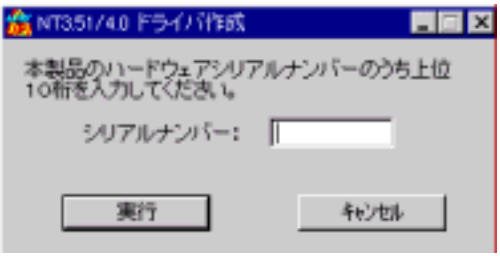
1 WindowsNT4.0を起動します。

2 『ファイルマネージャ』→「アイコン」→「ファイル名を指定して実行」で「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、フロッピィディスクドライブの「\CHGDRV.EXE」を実行します。

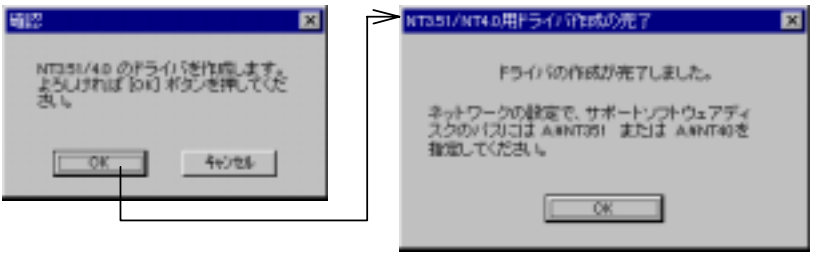
例) A:\CHGDRV.EXE・　（下線部入力）

フロッピィディスクドライブがA ドライブの場合

3 『NT3.51/4.0ドライバ作成』画面が表示されますので、本製品のハードウェアシリアルナンバーを入力して［実行］ボタンをクリックします。



4 ドライバのインストール時に入力するディレクトリを表示して終了します。



5 WindowsNTを一旦終了します。

• WindowsNT4.0への設定

注 意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。【2.4 動作確認】(P13)を参照して正常に動作することを確認してください。

PCLA/Tを取り付ける前に、WindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合は、アダプタの追加のみの手順となります。アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

1 ネットワーク接続したPCLA/Tを接続後、WindowsNT4.0を起動します。

2 まず、PCLA/Tが使用できるリソース（I/O ﾎﾟｰﾄ、割り込み,ﾒﾓﾘ領域）を確認するために『ｽﾀｰﾄ』－『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』－『管理ﾂｰﾙ』の「WindowsNT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して、空いている（使用していない）リソースを確認します。



3 次に『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[ｱﾀﾞﾌﾟﾀ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。(ネットワークがインストールされていない場合は、[Windows NT ネットワークがインストールされていません。インストールしますか ?]と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。)

4 『ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾄｱｯﾌﾟｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面で、「ﾈｯﾄﾜｰｸに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。



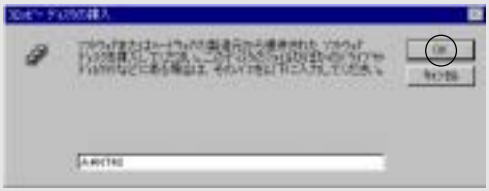
5 検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックしてください。



6 **アダプター一覧が表示されます。右下の[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックしてください。**



7 **『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸの挿入』画面が表示されます。**
「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入します。フロッピィディスクドライブがA:の場合は「A:\NT40」と入力して、[OK]ボタンをクリックしてください。



8 **『OEM　ｵﾌﾟｼｮﾝの選択』画面では、ご使用の製品名をクリックし、[OK]ボタンをクリックしてください。**



9 「I-O DATA PCLA/T ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ(xxxx)」のチェックボックスがチェックされているのを確認して、[次へ]ボタンをクリックしてください。
（xxxxにはPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は‘DOS/V’、
PC-9800シリーズの場合は‘PC-98’と表示されます）



10 使用する「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

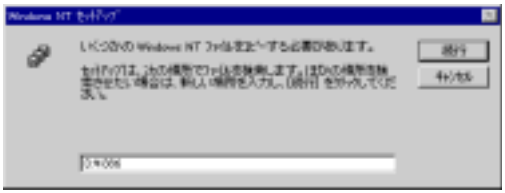


11 使用する「ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ」を指定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



12 「選択されたﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄとｼｽﾃﾑに必要なﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄをｲﾝｽﾄｰﾙします。.....」と表示されますので、[次へ]ボタン をクリックし、それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0の取扱説明書をご覧になるか、またはネットワーク管理者にご相談ください。

13 「いくつかのWindows NTﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする必要があります」と表示されます。
WindowsNTのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は「D:\i386」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)、PC-9800シリーズの場合は「D:\PC98」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[続行]ボタンをクリックしてください。

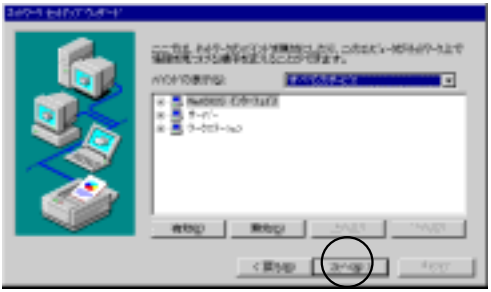


14 リソース設定の画面が表示されます。
手順2で確認した空いている（使用していない）リソース(IRQなど)を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

別のネットワークなどがインストールされている状態でPCLA/Tを追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示に従って再起動してください。



15 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



16 「ﾈｯﾄﾜｰｸを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックしてください。

17 「ﾄﾞﾒｲﾝ」または「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ」を設定し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



18 「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされました。.....再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、再起動してください。

注 意

WindowsNTでは、WindowsNTの使用中にカードの抜き差しはできません。必ず、WindowsNTを終了し、電源を切った状態で抜き差しを行ってください。

以上でインストールは完了です。

4.3 日本語WindowsNT3.51 Workstationへのセットアップ

注 意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。【2.4 動作確認】(P13)を参照して正常に動作することを確認してください。

PCLA/TのWindowsNT3.51 Workstationへのセットアップには、まず32ページの「・ インストールディレクトリの作成」を行ってください。次に以下の設定を行ってください。

1 WindowsNT3.51 Workstationを起動します。

まず、PCLA/Tが使用できるリソース（I/O ﾎﾟｰﾄ、割り込み,ﾒﾓﾘ領域）を確認するために『プログラムマネージャ』－『管理ツール』の「WindowsNT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して、空いている（使用していない）リソースを確認します。

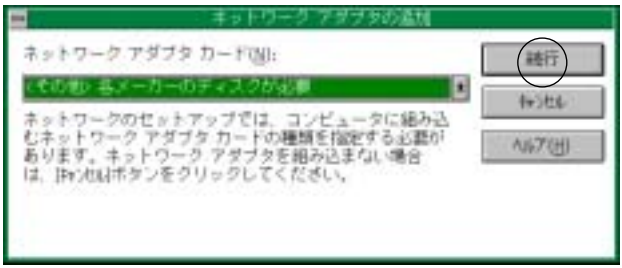


2 **次にネットワークの設定を行います。**

『メイン』－『コントロールパネル』－「ネットワーク」アイコンを順にクリックし、『ネットワークの設定』画面の「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｶｰﾄﾞの追加」ボタンをクリックしてください。



3 **『ネットワーク アダプタの追加』画面の「ネットワーク アダプタ カード」の項目で「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」ボタンをクリックしてください。**



4 **『フロッピーディスクの挿入』画面で「PCLA/Tサポートソフト」ディスクをフロッピィディスクドライブに挿入し、フロッピィディスクドライブの\nt351パス指定を行います。**

例)A:\nt351　（下線部入力：フロッピィディスクドライブがAドライブの場合）

5 **『OEM オプションの選択』画面で「I-O DATA PCLA/T ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ...」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。**

6 **『I-O DATA PCLA/T ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ...ｾｯﾄｱｯﾌﾟ』画面では、手順1で確認した空いている（使用していない）リソース（「IRQ Level」,「Memory Base Address」,「I/O Port Address」）を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。**

7 **『コントロールパネル』ー『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面でWindowsNT3.51 Workstationの取扱説明書に従って各種のネットワーク構成を設定してください。**



注意



参考

1) WindowsNTでは、WindowsNTの使用中にカードの抜き差しはできません。必ず、WindowsNTを終了し、電源を切った状態で抜き差しを行ってください。
2) WindowsNT3.51 Workstationの「ネットワーク」、「サーバ」、「FTPサーバ」、「ファイルマネージャ」、「ユーザマネージャ」の設定により、WindowsNT3.51同士の［ピア･ツー･ピア］接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.51クライアント」接続などが可能になります。詳細はWindowsNT3.51 Workstationの取扱説明書をご覧頂くか、ネットワークシステム管理者にご確認ください。

付録1 困った時には

PCLA/Tが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

● 自己診断中のトラブル

インストール時のトラブルの多くは、各種デバイスドライバとのパソコン資源の競合によって発生します。
インストール時の障害を追求するための一番良い方法は、パソコンのCONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを使用しないで起動することです。


参考

MS-DOS Ver 6.x以降の場合は、DOSの起動時に [F5] キーまたは [Shift] キーを押しながら、パソコンを再起動してください。そうでなければ、起動可能なシステムディスクを作成するか、CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATを他の名前に改名して、パソコンを再起動してください。

パソコンを起動後、MS-DOS上で動作する lasetup.exeの「LANアダプタの自己診断及び設定」(〔2.4 動作確認〕(P13)参照)でPCLA/Tの診断とネットワーク回線のチェックが行えます。
上記「LANアダプタの自己診断及び設定」が動作しない場合は、以下の「動作確認方法」で行ってください。

動作確認方法

以下の動作確認は、既に共有設定されたコンピュータがあるネットワーク環境で行ってください。

Windows95をお使いの場合

1 『ｽﾀｰﾄ』-『設定』-『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックしてください。

2 【3.1.3 インストール終了後の確認】(P21)を参照し、PCLA/TがWindows95上で正常に認識されているか確認します。

3 デスクトップ上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」をダブルクリックし、設定したワークグループのコンピュータ名の表示を確認してください。

WindowsNT4.0をお使いの場合

1 起動時に以下のようなエラーが表示されない事を確認してください。

(画面例：PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)

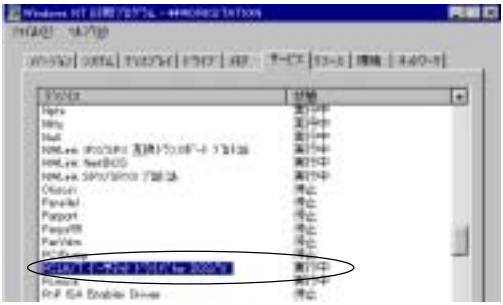


2 『ｽﾀｰﾄ』-『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』-『管理ﾂｰﾙ(共通)』-『WindowsNT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』をクリックし、「ｻｰﾋﾞｽ」タグの「ﾃﾞﾊﾞｲｽ」ボタンをダブルクリックしてください。

3 「PCLA/T ｲｰｻﾈｯﾄ ﾄﾞﾗｲﾊﾞ for xxxx」の項目が表示されており、「状態」が「実行中」であることを確認してください。

(xxxxにはPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は‘DOS/V’、
PC-9800シリーズの場合は‘PC-9800ｼﾘｰｽﾞ’と表示されます。)

(画面例：PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)



4 デスクトップ上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」をダブルクリックし、設定したワークグループのコンピュータ名の表示を確認してください。

1. ツイストペア接続で、アダプタ異常という結果になる。
   LINK(リンク)LEDインジケーターは、OFFになる。
   電源を入れた直後から画面に何も表示されない。
2. アダプタルーティングの診断テストは、外部ループバックテストの異常という結果になる。

原因 10BASE-Tのツイストペア接続に異常がある。

対処 RJ-45接続が外れていないか、ケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかを調べてください。確認後システムを再起動し、再び診断プログラム(lasetup.exe)を動かしてテストしてください。

アダプタ異常。「LANアダプタの自己診断」の実行ができない。

原因1 ケーブルの接続が悪い。

対処 RJ-45接続を使用している場合は、接続が緩んでいないかまたはケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。

原因2 PCLA/TがPCカードスロットに正しく取り付けられていない。

対処 PCLA/TがパソコンのPCカードスロットに適切に装着されているか調べてください。

原因3 パソコンのPCカードスロットに、異常がある。

対処 トラブルが起きているPCLA/Tを別のPCカードスロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付けてください。
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体のPCカードスロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

PCLA/Tの環境設定の後にPCLA/Tが異常になる。

原因 パソコン環境が競合している。

対処 I/Oポートアドレスと割り込み（IRQ）が他の周辺機器やPCカードと競合していないかを調べてください。

パソコンや他のPCカードで使用しているI/OポートアドレスやIRQがPCLA/Tと重なるならば、PCLA/TのI/OポートアドレスやIRQを確認し、競合する他のPCカードの設定を変更してください。

また、RJ-45接続を使用している場合は、接続の緩みやケーブルの種類（クロスケーブルとストレートケーブル）が間違っていないか回線を調べてください。

● Windows95上でのトラブル

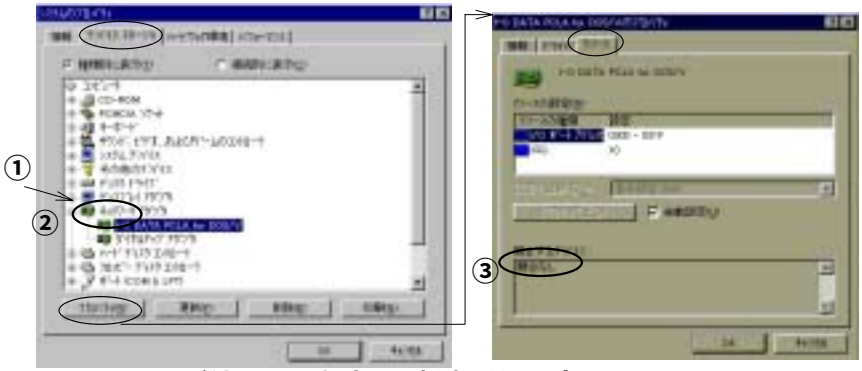
Windows95起動途中などでアダプタが異常のエラーとなる。その他Windows95上でPCLA/Tが正常に動作しない。

原因　PCLA/Tのリソース（「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」,「割り込み」）の設定が間違っている。

対処　以下の手順でリソースの確認及び変更を行ってみてください。

① Windows95起動後、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。

② 表示されている「I-O DATA PCLA/T for xxxx」をクリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」ボタンをクリックします。「I-O DATA PCLA/T for xxxx」の頭に、！マークが付いていないことを確認してください。
(xxxxにはPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は‘DOS/V’、PC-9800シリーズの場合は‘PC-9800ｼﾘｰｽﾞ’と表示されます)

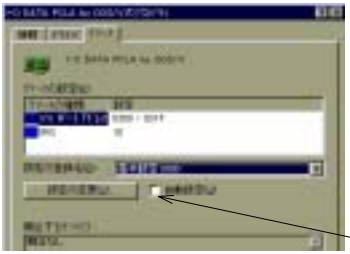


！マークが付いていた場合は、[削除]ボタンで「I-O DATA PCLA/T for xxxx」を一旦削除後、再度［3.1 インストール方法］(P17)を参照してPCLA/Tのドライバをインストールしてみてください。

③ [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA PCLA/T for xxxxのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないか確認してください。
競合している場合は、リソースを変更してみてください。
リソースの変更は、次ページの「・リソースの変更」を参照してください。

・リソースの変更

『I-O DATA PCLA/T for xxxxのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、[自動設定]チェックボックスのチェックを外します。



1.「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」の変更は、ﾘｿｰｽの種類]の[I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ]をクリックし、次に「設定の登録名」の基本設定の一覧から選択して変更できます。



2.「割り込み(IRQ)」の変更は、『I-O DATA PCLA/T for xxxx』画面の[ﾘｿｰｽの種類]の[IRQ]をダブルクリックして変更できます。



付録2 仕様

ここではパソコンの環境状況、及びPCLA/Tの仕様について記述します。

付2.1 パソコン環境

PCLA/Tの「割り込み」「I/Oポートアドレス」がパソコン本体や他のPCカードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。
この場合は、PCカードを全て取り外してから各PCカードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。
（PCLA/Tは、パソコン本体に全てのPCカードを取り付け後、再度確認と設定を行う必要があります。【2.4 動作確認】(P13)を参照してください。）
また、各PCカードを使用する環境によっては、CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT、Windows上の環境設定ユーティリティで変更しなければならない場合があります。（設定の詳細はお持ちのパソコンやマザーボード、各PCカードのマニュアルをご覧ください。）

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン本体の割り込み、DMA、I/Oポートアドレス使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2またはサウンド機能)		5		LPT2の場合 278h～27Fh サウンド機能の場合 200h～207h, 220h～233h, 330h～331h, 388h～39Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用(IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブコントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブコントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h



注 意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。取扱説明書などを参照して確認してください。

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン対応各種PCカードのI/Oポートアドレスの使用状況（一例）

PCカード	I/Oポートアドレス
PCLA/T(本製品)	240h～25Fh、280h～29Fh、2C0h～2DFh、300h～31Fh、320h～33Fh、340h～35Fh、360h～37Fh より選択
PCSC-V	E0D8h～E0DFh、F0D8h～F0DFh、338h～33Fh、308h～30Fh より選択
PCFM,PCML シリーズ	3F8h～3FFh、2F8h～2FFh、3E8h～3EFh、338h～33Fh より選択
PCJOY	201h *1　の1バイトを使用

*1 ： Windows95上では、110h,120h,130h、20Fhに変更可能

・PC-9800シリーズの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）

パソコン本体		割り込みレベル(INT)									DMA チャネル			
		0	1	2	3	41	42	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
マウス									●					
IDE 内蔵ハードディスク					●									
内蔵サウンド機能								◎						
内蔵フロッピィディスク I/F	640KB					△								△
	1MB/1.44MB						●						●	
TVチューナボード				●										
FAXモデム			●											
2nd CCU			◎											
赤外線通信機能			◎											

●出荷時設定（パソコン本体の取扱説明書などを参照してください。◎の部分は解放可能な場合があります。）

△解放可能（PC-9800シリーズのシステムセットアップメニューまたはディップスイッチで、フロッピィディスクモードを「1M」に固定｛SW3-1 ON,SW3-2 OFF｝すると解放されます。この場合でも 2DD(640KB/720KB) のディスクはアクセスできます。）

・各種PC-9800シリーズ対応PCカードのI/Oポートアドレス使用状況（一例）

PCカード	I/Oポートアドレス				備考
	xxD0h	xxD4h	xxD8h	xxDCh	
PCLA/T(本製品)	0xD0h～0xEF				x=0h～4h (2h単位で設定可能)
PCSC-V			xxD8h～xxDF		xx=E0hまたはF0hで設定可能 338h～33Fhまたは308h～30Fhでも設定可能
PCFM,PCMLシリーズ	0xD0h				x=0h～3hで設定可能
PCJOY	■※				※ 4D2hの1バイトのみ使用

注 意

使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られています。このため、PCカードを多く使用しようとすると、重複が避けられない場合があります。この場合は、重複の避けられないPCカードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各PCカードの取扱説明書を参照して確認してください。

併用するPCカードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、下表でINT表記との関係を確認してください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

■メモリ領域の確保

config.sysのメモリマネージャ（emm386.exeや弊社製vmm386.exe等）にPCLA/T用に少なくとも4KBのメモリ空間が必要です。
空けていない場合は、以下の例を参照して4KBのメモリ空間を空けてください。
（他のPCカードで使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）

emm386.exeの場合（下線部を設定:4KB空ける場合）

例）DOS/Vマシンの場合

DEVICE=EMM386.EXE NOEMS X=D400-D4FF

PC-9800シリーズの場合

DEVICE=EMM386.EXE NOEMS /E=DC00-DCFF

弊社製vmm386.exeの場合（下線部を設定:32KB空ける場合）

例）　DEVICE=VMM386.EXE /ROM=D8-DF



参照

PCLA/TのIDや他の情報を読み込むためにそのメモリ空間を使用します。（他のPCカードと一緒に使用する場合は、使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）

付2 ハードウェア仕様

LANアダプタカード	PCLA/T
LANコネクタ	RJ-45
メディアタイプ	10BASE-T
バス幅	16Bit
RAMバッファ	16KB
LEDインジケータ	Link(LINK) Transmit/Receive(Tx/Rx)
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンで使用可能な割り込み番号	IRQ 3,4,5,9,10,11,12,15
PC-9800シリーズで使用可能な割り込み番号	INT 0,1,2,5,6 (IRQ 3,5,6,12,13)
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンで使用可能なI/Oポートアドレス	240h～360h (20h単位) [260h,2A0h,2E0hを除く]
PC-9800シリーズで使用可能なI/Oポートアドレス	0D0h,2D0h,4D0h
使用温度範囲	0℃～55℃(パソコンの動作する温度範囲であること)
使用湿度範囲	10%～90% (結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)
消費電流(MAX)	+5V/130mA
サイズ	PCカード規格 TYPE II (85 x 54 x 5 mm)

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号。
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.。
   (フロッピィディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「PCLA/T」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■オンライン (パソコン通信)

インターネット	http://www.iodata.co.jp/
IOS-NET	アイ・オー・データ機器フォーラムのサポートセンター
NIFTY-Serve	アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

IOS-NETのアクセスポイントや概要については「サポートソフトのバージョンアップ」をご覧ください。

LAN製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOSーNET

アクセスポイント
東京 03-5295-6570　大阪 06-368-2291
金沢 076-234-9811　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。
(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ9(LIB 9)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCLA/T」 バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社サポートセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

住所 〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCLA/T」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、発送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

PCLA/T 取扱説明書
1997.Dec.13 E-04
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1995-1997 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにVerシールをお貼りください

Verシール